

## ◎クラブ競技会注意事項

1. ジェネラルエリアは原則ノータッチとする。
2. クラブ主催すべての競技において、使用球は公認球であれば良い
3. クラブ競技会においては、乗用カートの乗車を許可する。
4. 過少申告は失格とする。
5. 競技者がNRを2回以上続けた場合は次の競技の入賞は認めない。
6. 年会費（前年度迄）未納者は、クラブ競技に参加出来ない。
7. 月例競技会のペアリングにおいて同伴プレー希望者は、二人までとする。
8. 組合せ及びペアリングは競技委員会の基で行うものとする。

## ◎ローカル・ルール

1. アウト・オブ・バウンズは白杭をもって標示し、修理地は、青杭又は白線を持って標示する。
2. ペナルティーエリアは赤線又は水際をもってその限界を標示する。
3. コース内の全ての人工物（カート道路・樹木の支柱及び支線・給排水設備・ゴムマット・ヤード標示杭・ティマーク・獣避け電柵・その他の人工物）は動かさない障害物とする。
4. ラウンド中、プレーを終了したホールのグリーン上又は、その近く及びホール間での練習ストロークを行ってはならない。但し、ストロークプレーのハーフ終了後及びマッチプレーの次回戦のスタートまでに時間がある場合は、パッティンググリーン及びアプローチグリーンでの練習を認める。
5. グリーン上は、パター以外のクラブは使用禁止とする。
6. ローカル・ルールの変更及び追加は、クラブハウス内に随時掲示する。
7. 計測器の使用は認める。

上記以外はすべて JGA/USGA の競技規則を適用する。

## ◎その他注意事項

1. 前の組との間隔を空けないようにお願い致します。
2. 危険と思われる方向に打球が行った場合、フォアの掛け声をお願い致します。
3. タバコの後始末はカート内の灰皿をご使用ください。
4. 乗用カートはカート路を走行して下さい。芝生の上は走行禁止となります。
5. グリーン上のボールマークは、ご自分でお直し下さい。
6. バンカーでのプレー後は、ショット跡や足跡を平らに均しましょう。
7. ディボット跡の目土にご協力をお願い致します。
8. カートに積まれたクラブ、携帯品は紛失しないよう常時確認して下さい。また紛失された場合当クラブは責任を負いかねます。
10. カート事故及び破損の場合には、直ちにマスター室にご連絡下さい。
11. 過失、事故を問わずカートを損傷した場合には運転者が賠償の責任を負うものと致します。
12. ゴルフクラブ及びその他用品等の破損に関して、破損証明書の発行は致しますが、修理はご自身にてお願い致します。

以上  
 施行 2013年 8月  
 改定 2019年 11月

## 競技会（付則）

○スクラッチ杯競技：参加資格のハンディキャップ制限なし。

○ダブルス競技：2名のHDCCP合計の1/4のアンダーハンディ戦（小数点以下切り捨て）

### ○マッチングスコア方式

- ① 10番から18番 ホールの合計スコア
- ② 13番から18番 " "
- ③ 16番から18番 " "
- ④ 18番 " "
- ⑤ 18番からのカウントバック ①から⑤の順番で決定する。⑤決まらない場合はくじ引きとする。

月例競技会日程

(2023)



Mana Golf Club

新 年 杯	1月 9日(成人の日)	18HSP 新ペリア方式	ハーフコンペ・パーティー無
1月度月例杯	1月 29日(日)	18HSP アンダーハンディ戦	セルフ プレー
2月度月例杯	2月 26日(日)		
3月度月例杯	3月 26日(日)		
4月度月例杯	4月 30日(日)		
5月度月例杯	5月 28日(日)		
6月度月例杯	6月 25日(日)		
7月度月例杯	7月 30日(日)		
8月度月例杯	8月 27日(日)		
9月度月例杯	9月 24日(日)		
10月度月例杯	10月 29日(日)		
11月度月例杯	11月 26日(日)		
グランドCP杯	12月 24日(日)	☆各競技の入賞者のみ (ダブルス 競技も含む)	セルフ・パーティー有

1. クラブ選手権開催日程	競技方法	備 考
第一予選	5月 21日(日)	18HSPスクラッチ戦 上位16名 セルフプレー
第二予選	6月 4日(日)	18HSPスクラッチ戦 上位8名 セルフプレー
準々決勝	6月 11日(日)	18Hマッチプレー 2バック セルフ パス 無
準決勝	6月 18日(日)	27Hマッチプレー 2バック ワンキヤディ " 有
決 勝	6月 25日(日)	36Hマッチプレー 1バック ワンキヤディ " 有

2. シニア選手権開催日程	競技方法	備 考
予 選	9月 3日(日)	18 H SP 準々決勝へ 8名進出
準々決勝	9月 10日(日)	18 H マッチプレー 2バック セルフ パス 無
準決勝	9月 17日(日)	27 H マッチプレー 2バック ワンキヤディ " 有
決 勝	9月 24日(日)	27 H マッチプレー 2バック ワンキヤディ " 有

3. プレジデント杯開催日程	競技方法	備 考
予 選	4月 23日(日)	18HSPアンダーハンディ戦 決勝進出 上位16位迄
決 勝	4月 30日(日)	" 予選・決勝の TOTAL

4. スクラッチ杯競技会日程	競技方法	備 考
ワンディ競技	11月 12日(日)	スクラッチ 決勝進出上位16位迄

5. ダブルス杯競技日程	競技方法	備 考	
ワンディ競技	7月 9日(日)	スクランブルベストボール アンダーハンディ戦	ペア HDCCP 合計制限無
	12月 10日(日)		



**第1条** クラブ主催競技会は、すべて競技委員会（以下[委員会]という）の決定により運営され、日本ゴルフ協会規則及び特別ローカル・ルールに従って行われる。

**第2条** クラブ主催競技会は、クラブ選手権・シニア選手権・プレジデント・スクラッチ・月例・ダブルス杯とし、競技委員会指定のティを使用する。

**第3条** 参加資格については各競技細則参照。月例競技会はハンディキャップ（HDCCP 委員会内規に準ずる）を取得し、プレー日までのHDCCP（JGA/USGA）が有効期限内の者に限る。またHDCCPが無い者の参加を認めるが入賞資格は与えない。

**第4条** クラブ主催競技会は通常以下の条項のもとに行うものとする。

- (1) 予め「スタート」時刻の定めてある競技においては、参加者はその時刻の5分前までに「ティーグラウンド」に待機しなければならない。また、スタート時間に遅延した者は失格とする。但し月例競技会においては、遅れる旨の連絡があった場合はこの限りではない。
- (2) 遅延プレーの対処について、トップスタート（前組に一般プレーヤーの無い場合）の組はOUT 2時間15分 IN 2時間20分を超えた場合、また次の後続組については前の組と20分以上遅延した場合（警告したのにも関わらず改善がなければ）ハーフ毎その組全員に1打罰を課すこととする。（但しラウンドOUT 2時間15分以内・IN 2時間20分以内、マッチプレーは除く）
- (3) 競技参加者が16人に達しないときは不成立とする。但し委員会が認める場合はこの限りではない。
- (4) 競技に参加する者のアテストは同伴競技者に限る。（特定の競技に対しマーカを指定することが出来る。）但し予め競技委員の承諾を得た場合はその限りではない。
- (5) 競技参加者は、「スタート」20分前に必ず備え付けの競技者受付名簿に署名しなければならない。署名をしないで競技に参加した者は失格とする。
- (6) 四大競技に付いては別に定める「競技細則」に基づいて行い、それ以外の競技は原則として18ホールストロークプレーとする。
- (7) 競技の組合せは4名または3名をもって行い、「ハンディキャップ」の合計は原則として95以内とする。
- (8) 競技は、競技表に定めた日限内に終了しなければならない。日時は委員会がこれを決定する。

**第5条** ハンディキャップ区分について

- (1) ハンディキャップ別競技は次のように区分する。  
Aクラス ～15  
Bクラス 16以上

**第6条** 委員会運営について

- (1) 委員会は必要に応じ臨時ローカル・ルールを制定することができる。その場合はその都度クラブ内に掲示する。
- (2) 競技の組合せ及びスタート時刻は、委員会が決め必要に応じて事務局がプレーヤーに通知する。
- (3) 競技会が不測の事由により延期もしくは中止される場合は速やかにクラブ内に掲示するとともに、時間の余裕があれば直接参加者に通知し余裕がなければアナウンスしてこれを告知する。
- (4) 委員会は、当クラブ及びコースの従業員を競技係りに任命して競技開催当日限り権限の一部を委嘱して行使せしめることができる。

**第7条** 入賞資格及び無断欠席者の取扱いについて

- (1) 同ネットの場合（月例競技会）は①ローハンディ上位②マッチング
- (2) 各競技会において入賞者が正当な理由がなく表彰式に欠席したときは、入賞を取り消し次点の繰上げ入賞とする。但し事前に委員会に申し出がありやむを得ない事由と認められる時はこの限りではない。
- (3) （月例競技会）に於いて、当クラブのハンディキャップを取得していない者は、入賞の資格が無いものと次点の繰上げ入賞とする。
- (4) 各競技会において競技当日無断欠席した場合は次の通りとする。  
・クラブ選手権、プレジデント杯、シニア選手権、スクラッチ杯（次年度の当該競技の出場停止）  
・月例杯（次の月例杯の入賞資格取り消し）

・（予選を通過し決勝ラウンドに進んだ者が正当な理由なく欠場した場合、委員会の判断により 次回の当該競技の出場を停止させることがある。）

**第8条** 競技参加費は下記の通りとする。

- (1) クラブ選手権、プレジデント杯、シニア選手権、スクラッチ杯 3,000円（税別）
- (2) 月例杯・ダブルス杯・グランドチャンピオン杯 2,000円（税別）

**第9条** 競技の申し込み・取り消しについて

- (1) 四大競技（クラブ選手権、シニア選手権、スクラッチ杯、プレジデント杯）  
・当該競技日の2ヶ月前の同日から7日前の午後3時までとし、クラブに備え付けの競技参加申し込み簿に自署記入、また本人が電話等にて申し込むこと。
- (2) 月例・ダブルス杯  
・当該競技日の1ヶ月前の同日から7日前までとしクラブに備え付けの競技参加申込書に自署記入、または、電話等にて申し込むこと。
- (3) すべての競技において、申し込み期限後の競技参加取り消し、無断欠席については定められた競技参加費を徴収する。（天変地異の予測予報での取り消しはこの限りではない。）

**第10条** 使用球について

- (1) 四大競技を含む競技の使用球については、公認球であれば特に規定しない。

**四大競技の競技細則**

マナゴルフクラブ競技規則 第2条に準拠して四大競技の競技方法を以下に定める。

**1. クラブ選手権競技会**

- (1) 出場資格は当クラブの会員であって、アマチュア規定に抵触しない者。  
・ **第一予選**（上位16位まで） 18ホールストロークプレー（スクラッチ戦）  
・ **第二予選**（上位8位まで） 18ホールストロークプレー（スクラッチ戦）  
・ 準々決勝 18ホールマッチプレー  
・ 準決勝 27ホールマッチプレー  
・ 決勝 36ホールマッチプレー
- (2) 予選ラウンドにおいて「タイ」の場合**マッチングスコア方式**で順位を決定する。
- (3) マッチプレーにおいて最終ホール終了してオールスクエアに終わった場合、いずれか勝者が決まるまで競技委員の基で（コースの選定）試合を継続するものとする。（サドンデス）
- (4) クラブ競技において日没、天候不良等やむを得ない事情と委員会が認めた場合に限り、競技の取り消しを含め適宜の処置を取る事が出来るものとする。但し再競技の必要がある場合は、一週間以内（土曜日）までに勝敗を決めるものとする。更にこの場合期間内に再競技の日時が双方一致しない時は委員会が決定する

**2. プレジデントカップ 2日間競技**（予選+決勝のトータルスコア）

- (1) 出場資格は開催日より過去1年間に3回以上の月例競技会参加し、且つ開催前月より過去6ヵ月以内で月例競技会1回以上の参加実績がある者。
- (2) 参加申し込み日までにクラブハンディキャップ20まで取得した者（但し20以上の者は20として参加できる。）  
・ 予選（上位16名） 18ホールストロークプレー（ハンディ戦）  
・ 決勝 18ホールストロークプレー（ハンディ戦）
- (3) 予選・決勝ラウンドにて、「タイ」の場合**マッチングスコア方式**で順位を決定する。

**3. シニア選手権**

- (1) 出場資格は当クラブの会員であって、アマチュア規定に抵触しない者。参加年齢については、満55歳以上、女子は50歳以上とする。  
・ 予選（予選通過8名）18Hストロークプレー（スクラッチ戦）  
・ 準々決勝 18ホール・マッチプレー  
・ 準決勝 27ホール・マッチプレー  
・ 決勝 27ホール・マッチプレー
- (3) 上記以外に於いては、クラブ選手権に順ずるものとする。

**4. スクラッチ杯**（2日間トータルスコア競技）

- (1) 出場資格は当クラブの会員であればクラブハンディ無しの方も参加できる。
- (2) 予選ラウンドにて、「16位タイ」の場合**マッチングスコア方式**で順位を決定する。



ハンディキャップ委員会内規(クラブハンディキャップ)

- 第1条** < 目的 >  
この内規は、「競技規則」に基づき行われるクラブ主催競技会の安定的運営に資するとともに、競技参加者の無用な混乱を回避し、技術向上意欲の増進を図ることを目的とする。
- 第2条** < 区分 >  
(1) オフィシャル  
クラブ外で使用を許可するハンディキャップは、JGA/USGA ハンディキャップのみとする。  
(2) ローカル  
クラブ内で使用するハンディキャップは、事項以下により調整されかつ認定されたものに限り、JGA/USGA ハンディキャップの使用は認めない。
- 第3条** < 対象者 >  
現に有効な JGA/USGA ハンディキャップを有する当クラブの会員とする。
- 第4条** < 調整権限 >  
(1) ハンディキャップの調整については、コース並びに競技の実情及び対象者間の均衡等に配慮し所要の権限を行使する。  
(2) 調整の基礎はJGA/USGA ハンディキャップとし、原則として加減15パーセントの範囲内で整数化(少数点以下四捨五入)する。但し、急速な上達者または疾病による技術低下等短期間で大幅な変動が認められたものに対してはこの限りではない。  
(3) 調整基礎となるJGA/USGA ハンディキャップは、常時閲覧可能な別紙をマスター室に備え付ける。  
(4) 具体的な調整手続きは、別に定める「ハンディキャップ調整事務細則」による。
- 第5条** < 取消等権限 >  
対象者が、故意にハンディキャップを調整する目的でスコアカードを提出しなかったことが明らかな場合、当核ハンディキャップに対する増減及び取消の権限を行使する。
- 第6条** < 認定 >  
全ての対象者に対して、調整手続後のハンディキャップを認定のうえ交付する。
- 第7条** < 交付 >  
(1) 全ての対象者に対しての交付は、クラブ内に設置した常設のハンディキャップボードに表示して行う。尚、変更の都度所定の掲示版に表示する。  
(2) クラス移動の対象者に対しては、認定の都度所定の掲示版に表示する。  
(3) シングルハンディキャップとなった対象者に対しては、認定の都度個別に所定の掲示版に表示する。
- 第8条** < 証明 >  
ハンディキャップ証明書は、対象者からの申し出により、競技参加資格、他クラブへの証明及びその他対象的な使用目的に限り発行するものとし、JGA/USGA ハンディキャップ規定によって計算された小数点以下第1位までを表記する。
- 第9条** < 暫定ハンディキャップ >  
暫定ハンディキャップについては、その採用を当面見合わせる。

- 1. 「ハンディキャップ委員会内規」の実施に伴う当初ハンディキャップの認定は、実施日の前日におけるJGA/USGA ハンディキャップを基に行う。
- 2. 調整の実施は、原則として毎月1回とし、月例競技会の前日までに行う。
- 3. JGA/USGA ハンディキャップのみ取得し、競技会への参加実績がない対象者についての調整の実施は、半年に1回とする。
- 4. 競技会の実績を考慮した調整の実施は、半年に2回以上の参加実績を有する対象者とし、調整幅は次のとおりとする。
 

①半年に2回の参加	・・・	20%以内(ネット尻の平均値に対する調整可能割合)	
②半年に3回の参加	・・・	40%以内(	)
③半年に4回の参加	・・・	60%以内(	)
④半年に5回の参加	・・・	80%以内(	)
⑤半年に6回の参加	・・・	100%以内(	)
- 5. クラス間の移動
  - ①上位クラスの移動は、下位クラスでの最小ハンディキャップにより、競技会においてのネットスコアでアンダーパーを連続で記録するか、又は連続で優勝することを要す。
  - ②下位クラスへの移動は、何らかの事情による急激な技術の低下等が認められた場合のみあり得る。
- 6. シングルハンディキャップ
  - ①JGA/USGA ハンディキャップのみ取得対象者の場合は、当核ハンディキャップについて1年以上連続で「8.5」以下の水準を維持することを要す。
  - ②競技会への参加実績を有する対象者の場合は、当核競技会においてネットスコアでのアンダーパーを3回以上連続で記録することを要す。
  - ③認定書を交付された対象者は、疾病等特別な事由による急激な技術の低下認められない限りその地位を逸しない。
- 7. スクラッチハンディキャップについては、クラブチャンピオンの連覇等一定以上の実績を要す。
- 8. プラスハンディキャップについては、対外競技の実績等を加味しつつ別途協議する。

マナゴルフクラブ  
ハンディキャップ委員会  
委員長 宇野 清文

付 則

- 1. この内規の改定は、2016年11月26日から実施する。